



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 問合せ先責任者 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	5,213	14.6	255	114.9	271	137.8	164	146.9
26年4月期第3四半期	4,549	21.2	118	△39.3	114	△46.6	66	△44.3

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 162百万円(144.8%) 26年4月期第3四半期 66百万円(△44.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	138.85	136.94
26年4月期第3四半期	56.52	56.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	2,559	1,428	55.5
26年4月期	2,293	1,266	55.2

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 1,420百万円 26年4月期 1,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	—	—	18.00	18.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成27年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,390	14.4	349	15.2	352	19.3	218	26.8	185.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期3Q	1,192,400株	26年4月期	1,182,000株
27年4月期3Q	81株	26年4月期	—株
27年4月期3Q	1,187,871株	26年4月期3Q	1,182,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は平成27年3月9日開催の取締役会において、株式分割について決議し、平成27年5月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合をもって分割することとしております。

詳細につきましては、本日(平成27年3月9日)公表の「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られたものの政府の景気対策や日本銀行の金融施策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しなど、総じて回復基調に推移いたしました。

また、当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても、美容室の新規開業店舗数が増加傾向となるなど緩やかながらも回復の兆しが見られました。

そのような状況下、当社グループでは「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域の拡大、化粧品・消耗品などのリピート商材の商品ラインナップ拡充による「フロー&ストック型の収益構造への転換」などを目指し各種取組を実施しております。

以上の結果、平成27年1月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は74,720口座（前年同期比12,411口座増）に伸長し、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,213,743千円（前年同期比14.6%増）となりました。

また、平成26年11月にはアイラッシュ（まつげエクステ）サロンに特化した商材卸事業、開業・経営支援事業を展開する株式会社アイラッシュガレージを設立し、昨今急激にニーズが高まり、今後の成長が見込まれる「アイラッシュ（まつげエクステ）」市場に本格進出いたしました。

物販事業の構成比率の増加及び店舗設計事業における売上総利益率の改善により、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は1,773,392千円（前年同期比16.2%増）となりました。

また、イベントへの出展やカタログ発刊を始めとして積極的なプロモーション施策を実施しつつも販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益255,359千円（前年同期比114.9%増）、経常利益271,492千円（前年同期比137.8%増）、四半期純利益164,938千円（前年同期比146.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、主要都市10ヶ所のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の約6割を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比28.0%増と順調に伸長し続けております。

上半期においては、美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2014」（開催地：東京）への出展やカタログ通販誌「BG STYLE」を発行いたしました。

また、平成26年12月1日にスマホ専用サイトを全面リニューアルし、スマートフォン・携帯電話経由の売上高は前年同期比64.2%増と大幅に伸長いたしました。

この結果、当事業の売上高は4,059,808千円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は319,322千円（前年同期比34.7%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。平成26年5月には東京・金沢・福岡・大阪に続き5拠点目となる名古屋支店を開設し、サービス提供エリアを拡大いたしました。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めましたが、第1四半期においては消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響が想定以上に大きかったものの、その後回復基調となったことや各案件の利益率の向上に努めたことから、当事業の売上高は955,757千円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は57,990千円（前年同期比99.8%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、経営支援サービスの強化を目的とし、セミナー・講習会のサービスメニューの拡充に注力いたしました。

居抜き物件仲介サービスやセミナー・講習会などが好調だったことから、当事業の売上高は198,177千円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益は14,323千円(前年同四半期はセグメント損失14,585千円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.0%増加し、2,276,568千円となりました。これは、主に売掛金の減少64,306千円があったものの、現金及び預金の増加139,140千円、商品の増加116,731千円及び仕掛品の増加8,053千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16.9%増加し、283,220千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加23,561千円及び有形固定資産の増加12,511千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、974,858千円となりました。これは、主に買掛金の減少114,793千円があったものの、その他流動負債の増加99,473千円、賞与引当金の増加34,525千円、短期借入金の増加22,500千円、未払法人税等の増加22,176千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加13,316千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.7%増加し、156,354千円となりました。これは、主に長期借入金の増加9,446千円及びポイント引当金の増加5,048千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、1,428,575千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少21,276千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加164,938千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月28日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	551,261	690,402
売掛金	436,759	372,453
商品	805,551	922,283
仕掛品	8,535	16,588
その他	255,077	283,722
貸倒引当金	△6,364	△8,881
流動資産合計	2,050,820	2,276,568
固定資産		
有形固定資産	69,487	81,999
無形固定資産		
のれん	529	-
ソフトウェア	40,079	45,498
その他	116	116
無形固定資産合計	40,725	45,614
投資その他の資産	132,044	155,606
固定資産合計	242,258	283,220
資産合計	2,293,078	2,559,788
負債の部		
流動負債		
買掛金	411,500	296,706
短期借入金	-	22,500
1年内返済予定の長期借入金	60,208	73,524
未払法人税等	52,465	74,642
賞与引当金	23,880	58,406
製品保証引当金	9,792	14,872
受注損失引当金	350	2,509
その他	332,223	431,697
流動負債合計	890,420	974,858
固定負債		
長期借入金	69,352	78,798
ポイント引当金	27,705	32,753
資産除去債務	23,945	24,085
その他	15,363	20,716
固定負債合計	136,366	156,354
負債合計	1,026,786	1,131,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	268,170
資本剰余金	213,587	219,437
利益剰余金	789,621	933,283
自己株式	-	△202
株主資本合計	1,265,528	1,420,687
新株予約権	-	236
少数株主持分	763	7,651
純資産合計	1,266,291	1,428,575
負債純資産合計	2,293,078	2,559,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	4,549,637	5,213,743
売上原価	3,023,732	3,440,351
売上総利益	1,525,904	1,773,392
販売費及び一般管理費	1,407,063	1,518,033
営業利益	118,841	255,359
営業外収益		
受取利息及び配当金	80	55
為替差益	-	13,913
債務免除益	916	-
その他	3,321	4,577
営業外収益合計	4,317	18,546
営業外費用		
支払利息	1,327	1,250
為替差損	6,734	-
創立費	364	502
その他	545	659
営業外費用合計	8,971	2,412
経常利益	114,187	271,492
特別利益		
固定資産売却益	95	86
持分変動利益	879	-
特別利益合計	974	86
特別損失		
本社移転費用	4,300	-
特別損失合計	4,300	-
税金等調整前四半期純利益	110,861	271,579
法人税、住民税及び事業税	50,233	127,968
法人税等調整額	△5,892	△19,215
法人税等合計	44,341	108,752
少数株主損益調整前四半期純利益	66,520	162,826
少数株主損失(△)	△286	△2,111
四半期純利益	66,806	164,938

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,520	162,826
四半期包括利益	66,520	162,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,806	164,938
少数株主に係る四半期包括利益	△286	△2,111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,460,086	903,546	186,004	4,549,637	—	4,549,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,327	45,296	1,657	69,281	△69,281	—
計	3,482,413	948,843	187,662	4,618,918	△69,281	4,549,637
セグメント利益又は損失 (△)	237,126	29,020	△14,585	251,562	△132,720	118,841

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,720千円には、セグメント間取引消去10,146千円、未実現利益の調整額△727千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,059,808	955,757	198,177	5,213,743	—	5,213,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,794	37,705	676	56,176	△56,176	—
計	4,077,603	993,462	198,854	5,269,919	△56,176	5,213,743
セグメント利益	319,322	57,990	14,323	391,636	△136,277	255,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△136,277千円には、セグメント間取引消去3,321千円、未実現利益の調整額6,686千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。